

第1回

鹿児島国際歯学シンポジウム

- グローバルな健康長寿を実現する歯学教育と臨床を考える -

2016年1月30日(土) 13:00 ~ 17:40

会場：鹿児島大学桜ヶ丘キャンパス鶴陵会館ウィリアムウィリスホール

形式：オープンシンポジウム（入場無料、事前登録不要） 開場：12:30

13:00~13:10 開会の挨拶

松口徹也（鹿児島大学歯学部長）

13:10~13:30 「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革」事業概要説明

窪木拓男（事業責任者・岡山大学歯学部長）（予定）

シンポジウムⅠ(13:30 ~ 15:15)：超高齢社会における地域歯科医療のあり方

座長： 田口則宏（鹿児島大学）

モデルスタディとしての離島歯科診療の意義

南 弘之（鹿児島大学）

地域に根差した歯科医療のあり方（実践的取り組み）

角町正勝（長崎県開業歯科医師）

長寿時代のエンドオブライフ・ケア

会田薫子（東京大学 死生学・応用倫理センター）

シンポジウムⅡ(15:30 ~ 17:40)：東南アジアにおける歯学教育の現状と展望

座長： 於保孝彦（鹿児島大学）

Things We Should Know about Dentistry in Asia

Prof. Norifumi Nakamura (Kagoshima University)

Dental Education in Indonesia: Undergraduate, Postgraduate and Specialist

Prof. Coen Pramono (Airlangga University)

Medical Support Team for Myanmar

Dr. Masashi Yoshida (Imakiire General Hospital)

Dental Education in Myanmar

Prof. Shwe Toe (University of Dental Medicine, Yangon)

本シンポジウムは、文部科学省大学改革推進等補助金「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革－死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築－」により実施されます。

